

6 月定例所長会見における横村所長挨拶内容

- 所長の横村でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故から 2 年 3 ヶ月あまりが経過いたしました。今もなお、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、大変なご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、心よりお詫び申し上げます。
- 本日、私からは 2 点お話しさせていただきます。
- まずは、当発電所の安全対策に関する主な取り組み状況についてです。  
1～4 号機側の防潮堤の工事は、擁壁部のコンクリートの打設や改良土の盛土の作業を完了し、当初の予定通り今月下旬には完成する見通しです。

次に、貯留堰の設置工事の開始についてです。

今月下旬より、1, 5, 6, 7 号機において貯留堰の設置工事を開始いたします。この貯留堰は、津波の引き波時においても、冷却に必要な海水を確保するためのもので、取水口の海側の海中に壁を設置いたします。

この他に、電源喪失時に原子炉へ注水するための設備として、各プラントに蒸気駆動の原子炉隔離時冷却系ポンプを常設しておりますが、これに加えて、注水手段のさらなる強化を目的に、このバックアップ設備として、蒸気駆動の代替高圧注水系ポンプを各プラントに 1 台ずつ設置してまいります。今月中に 1, 5, 6, 7 号機にて設置工事を開始してまいります。

また、現在、策定が進められております新規制基準を踏まえ、今後、敷地内に特定安全施設を設置していくこととなります。この設置に先立ち、施設の設置場所検討のための地質調査を今月中旬より実施していくことといたしました。

○ 2点目は、「地域の皆さまへの説明会」の実施結果についてです。

先週4日に刈羽村にて、6日に柏崎市にて、地域の皆さまへの説明会を開催し、両日で約130名と多くの皆さまからご参加いただきました。

今回の説明会においては、会場にお越しになられた方からの直接のご質問により多くお答えができるように、これまでより質疑応答に時間をかけさせていただきました。

ご参加いただいた皆さまからは、フィルタベント設備を含む発電所の安全対策や福島事故への対応状況など、さまざまなご質問やご意見を頂戴いたしました。具体的には、「安全と安心を考えながら安全対策に取り組んでもらいたい」、「福島事故の原因は本当に解明されたのか」、「一生懸命やっていると思うが、まだ社会目線になっていない」「運転員の教育がマニュアル重視で応用が効かなくなっているのではないか」などの声をいただいたところです。

今後も、説明会でお聞きした地域の方からの貴重な声も踏まえながら、発電所における安全に対する取り組みについて、さらにご理解が深まるようにご説明を行い、地域の方にご安心いただけるように努めてまいります。

○ 本日、私からは以上です。

以 上